

日韓の遺族ら「大規模事故忘れない」 大阪で追悼の夕べ



会場で献花する韓国の事故遺族ら＝25日午後、大阪市福島区



尼崎ＪＲ脱線事故や旅客船セウォル号沈没事故など、日本と韓国で起きた大規模事故の遺族らによる「追悼の夕べ」が25日、大阪市福島区の区民センターであった。ＪＲ西日本労働組合などの約600人が参加し、事故の風化防止を誓った。

二つの事故のほか、日航ジャンボ機墜落事故と韓国・大邱の地下鉄火災事故の遺族らでつくる実行委員会が主催。セウォル号沈没事故で息子を亡くした崔順花さん（49）は、政府に事

故の真相究明を求めている活動を紹介し、「体も心もズタズタになったが、真実を求める私たちは止まるわけにはいかない」と訴えた。

また、脱線事故の遺族、藤崎光子さん（75）＝大阪市＝も「事故を風化させないよう、韓国の人たちとともに闘いたい」と話した。

同日午前、韓国の遺族ら8人は尼崎市の脱線事故現場を訪れた。（森 信弘）